

平成17年 1月 4日発行

みんなで考えよう 将来の「土地利用」のあり方

伊賀良地区土地利用計画検討懇談会だより

～ 第1回検討懇談会を終えて～

伊賀良地区土地利用計画検討懇談会の第1回懇談会を行いました

日時 平成16年12月14日 19:00～21:10

場所 伊賀良公民館

参加 検討委員22名、オブザーバー2名、飯田市役所職員9名

当日は、井上正良先生((株)井上景観研究所代表取締役)にコーディネーターをお願いし、検討委員が4つのグループに分かれ、飯田市と伊賀良地区の現状について議論しました(主な意見は2ページのとおり)。今後も検討委員の皆様によるグループ討論などに取り組みながら、検討を進めていきます。

土地利用計画、土地利用計画検討懇談会については、3ページをご覧ください。



説明をする井上コーディネーター



グループごと意見を出し合っています



皆さんが意見を書きました



各グループごと発表しました

第1回 伊賀良地区 土地利用計画検討懇談会で出た主な意見（まとめ）

飯田市ってどんなところ

中心市街地

- ・都市機能が集積した所
- ・少子高齢化、過疎化が進んでいる
- ・アップロードの周辺に中心地が移動している
- ・空き地、空き店舗が増えている
- ・小京都的だ

田園地域

- ・美しい農村風景が残っている
- ・開発の効果、可能性が高い所
- ・乱開発が進み、農地と住宅が混在
- ・優良農地が減少した

中山間地域

- ・里山景観の整備が必要
- ・自然が残っていて美しいが、農地が荒れている
- ・集落の共同体意識が高い
- ・果樹園が多く存在する
- ・山、里の暮らしが残っている
- ・高齢化、担い手不足
- ・農業、林業だけでは成り立たない

道路・公園・公共施設などの施設

- ・生活道路、水路の整備が遅れている
- ・市民全体で、使用できる大規模施設が少ない

産業や人材育成 文化やコミュニティー活動など

- ・産業振興のための人材育成が不足している
- ・自治会への未加入世帯が多くなってきており、人間関係が希薄になっている
- ・産業規模が小さい
- ・社会教育はしっかりしている

このような
飯田市の中で

伊賀良ってどんなところ

すばらしいと 思うこと

- ・南アルプスの展望や里山が近く、景観がよい
- ・果物の種類もたくさんあり美味で、特産物である
- ・用水は豊富であるし、美味しい水もある
- ・人口増加地域である
- ・車社会の時代で、飯田インターチェンジ、アップロードが通っており、飯田市の中心になっている

もっとこうあって欲しいと 思うこと

- ・観光施設を増やし、イベントを充実させたい
- ・大型の入れる道路が必要
- ・メリハリのある土地利用、街並み形成
- ・農地、用水など先人の努力を無にしない
- ・住民協定などで、地域や景観を守っていく必要がある
- ・実効性のある用途地域の指定が必要
- ・伊賀良にもっと力を注ぐべきだ

「土地利用計画」とは

将来の住みやすく生き生きとしたまちを創っていくための地域経営の基盤となる土地の利用のあり方を示した計画です。

どうして「土地利用計画」をつくるのか

飯田市は、雄大な自然と暮らしやすい気候に恵まれ、それぞれの地域ごとに特色を生かした豊かな暮らしが築かれてきました。

しかし、近年経済成長や交通網の発達に伴い、中心市街地近郊に住宅地や商業地が無秩序的に拡大し、中心部や農山村地域における人口減少や活力の低下を招くとともに、農地の確保や農業の維持が困難となってきています。

また、市街地の虫食いの拡大は、道路や下水道施設の投資及び維持管理費の増大を招き、将来に亘って安定した地域経営が可能かどうか問われてきています。加えて、地方分権の推進、少子高齢化、国及び地方の財政に余裕がなくなっている状況から、さらにその経営は厳しくなるものと予測されます。

このように、従来のような現状追認型の土地利用では、将来の地域経営は行き詰まってしまうと考えられ、土地基本法の理念に謳われているように「公共の福祉を優先した秩序ある土地利用」に転換すべき時期が来ているといえます。

そこで、飯田市では、将来の住みやすく生き生きとしたまちを創っていくため、自治体経営の基盤となる土地利用計画を見直すこととしました。平成18年度にかけて、国土利用計画を基本として、都市計画マスタープラン、農業振興地域整備計画などを総合的に策定することとし、併せて地域の皆さんの意見の反映や個別の開発計画を調整する仕組みづくりを進めていきたいと考えています。

今後、市民、事業者、研究者など多くの皆さんの参画を得て、土地利用のあり方やその実現に向けた仕組みづくりを検討して参ります。

飯田市が目指す「土地利用計画」とは

- ・市民や事業者、行政などが共有できる市全体・各地区の将来像を踏まえ進めます。
- ・地域の土地利用のルールやしきみをつくり、地域住民を中心に、事業者・行政と一緒に実施します。
- ・平成19年度10月を目途に、国土利用計画を基本として、都市計画マスタープラン、農業振興地域整備計画などを総合的に策定します。

「土地利用計画検討懇談会」とは

役 割

- ・飯田市全体に関係する土地利用の課題の共有化、基本の方針（骨格）についての意見の反映
- ・伊賀良地区における今後の土地利用の方向性の検討とまとめ
- ・土地利用計画運用等の仕組みづくりの検討

土地利用計画検討委員

伊賀良地区内の関係団体（自治会、商業関係・農業関係団体等）から推薦された25名
今年度の開催予定

今年度、市内の3地区をモデル地区（伊賀良、山本、鼎）とし、平成17年3月までに、3回開催する予定です。なお、17年度4月以降は、モデル地区での検討を踏まえ、18地区で土地利用計画検討懇談会を開催する予定です。

次回、第2回懇談会は下記のとおり開催します。

日時 平成17年1月18日(火) 19:00～21:00

場所 伊賀良公民館

内容 第1回懇談会で示された現状、問題点を整理し、地域の課題等を確認



まとめた意見を発表しています

今後、懇談会の模様をこのような懇談会だよりとして、皆様にお届けします。ご感想、ご意見等ございましたら、発行元までご連絡ください。

発行元：飯田市役所

飯田市大久保町 2 5 3 4 2 2 - 4 5 1 1

E-mail: nousei@city.iida.nagano.jp

産業経済部農政課 担当：松下、松村 内線 3 5 1 5

建設部管理計画課 担当：西 内線 2 7 4 2

企画部企画課 担当：荒尾 内線 2 2 2 3

ご感想・ご意見がございましたら上記担当のほか、支所へのご連絡でも構いません。

飯田市役所伊賀良支所

飯田市伊賀良大瀬木 5 7 0 - 1 2 5 - 7 3 1 1